

2022年8月3日(火)

日刊工業新聞 第39面 西日本

古着回収ワクチン寄付

商工中金
広島西部支店 協力呼びかけ

【広島】商工中金広島西部支店（広島市西区）は、同店が立地する流通団地「商工センター」内の協同組合に作業着や普段着などの古着の提供を呼びかけ、途上国の子どものポリオワクチン接種費用に充てる取り組みを始めた。国連の持続可能な開発目標（SDGs）への貢献の一環。

SDGsへの取り組み

都港区）の「古着 de ワクチン」を活用する。同社から購入した袋に古着を詰め返送するとNPO法人「世界の子とともにワクチンを日本委員会」を通じ、途上国へポリオワクチンが寄付される仕組み。

約500社を対象に古着の提供を呼びかけ、9月末をめどに回収。以降、参加社数や古着の収集量に応じ、今後、収集する頻度や他地域への拡大などを検討していく。

商工中金は、2018年10月に公表した中期経営計画「商工中金経営改革プログラム」を掲げる。支店ごとに具体策を検討しており、古着の回収は、同

支店の女性職員の発案。社内で試行した結果、有意義な取り組みとして拡大を決めた。

阿曾延晃 広島支店長

兼 広島西部支店長は、

「この取り組みを機に商工センターに一体感

を醸成していきたい」と期待した。